

## 【就職征稿】“我能有今天是托大家的福” 【就 勞投稿】「周りの人に助けられて、今の私がある」

我是过了三十五岁以后回日本定居的，在中国的时候，结婚前在工厂工作，结婚后干的是农活。回到日本后，我每周去二、三次日语学习班，每次学习两个小时，共学了半年。之后，进入职业训练学校学习楼房清扫管理学科。班级里只有我一个人是归国者，由于上日语班的时候我常常需要去医院，没能很好地学日语，所以在职业训练学校基本上听不懂日语。因此，下课后常常留下来补习学习的内容和有关就职及面试的练习。毕业后，职业训练学校的课长给我介绍了一个清扫楼房的工作，就是现在工作的公司。



私は、30代後半で日本に帰国しました。中国では、結婚前は工場に勤め、結婚後は農業をしていました。帰国後、一回2時間、週に2、3回の日本語教室で半年間学習し、その後、職業訓練校のビルクリーニング管理科に入校しました。クラスでは私一人だけが帰国者でした。日本語教室に行っている間は、病院に行くことも多く、なかなかきちんと勉強できなかったため、職業訓練校では日本語がほとんどわかりませんでした。そのため、授業が終わってから、授業や就職面接の練習などの補習を受けました。卒業後、職業訓練校の課長さんからビル清掃の仕事を紹介され、今の会社に入社しました。

刚开始的时候我不是正式员工，不过工作了两年之后转正，现在已经工作了十六年。

在职业训练学校的那六个月非常开心，班级里的同学对我也十分友好，我从他们身上学到了不少东西。同学中既有年轻人，也有年过六十多岁的男士和失业人员。女性包括我在内，一共只有三个人。午饭的时候，我们三个女性总是在一起吃盒饭，那时我常常会对两个人说，“我不明白，快告诉我！”，向她们学了很多事情。除了课上的内容以外，我还会问她们汉字的读音、及红白喜事时该怎么办等关于日本人生活习惯的问题。两个人则要么慢慢地告诉我，要么在纸上写下来给我看。毕业后，我们有时也会一起去吃饭或是去唱卡拉OK，度过一段开心的时光。一直到现在，我仍然跟班级同学保持着联系和来往。

下面来说说工作上的事情。刚进公司的时候，因为摸不到东西南北，所以只能埋头苦干。有一天，听到上司对我说，“H女士进来以后，公司变好了。”这句话时，我真不知道有多高兴！

不过，在我的工作里最需要努力的地方就是得记住每一个清扫地点。比如，今天是清扫某座大楼某层的某些地方；明天是……如此这般每天清扫的地方都不同。有一次，我赶到清扫地点却不见同事的影子，急忙打电话跟他们联系，才知道原来我听错了大楼的名字。

初めは正社員ではありませんでしたが、2年後に正社員になりました。それから今まで16年間働いています。

職業訓練校の6か月はとても楽しかったです。同じクラスの学生さんたちにいろいろ親切にしてもらい、たくさんのおしえてもらいました。若い人もいましたが、60代の男の人、仕事をなくした人もいました。女性は私の他に二人だけでした。お昼はいつも女性同士三人でお弁当を食べました。「わからないから教えてください」と言っているいろいろなことを尋ねました。授業内容以外にも、漢字の読み方や、結婚や葬儀の時どうしたらいいかといった日本の習慣について聞くこともありました。二人は、ゆっく

り話したり、紙に書いてりして教えてくれました。

卒業した後、皆で食

事をしたりカラオケに行ったり楽しい時間を過ごしました。クラスの人たちと今でもお付き合いがあります。

仕事のことをお話しします。入社したばかりの時、何も分からなかったので、一生懸命働きました。上司の人に「Hさんが入社したら会社が良くなった」と言われた時は、とてもうれしかったです。

一方、特に大変だったのは、清掃場所を覚えることでした。清掃の仕事は、今日は何ビルの何階のどこそこ、明日は・・・と



那天我迟到了十分钟。对我来说，日本大楼的名字都很相似，很容易弄错。从那以后，我养成了必须记笔记的习惯。当然，尽管跟同事交流不是一件简单的事情，但大家都会很友善地教我。

后来，我被调到另一个部门，在那儿有很多前辈，她们就像我的母亲一样认真和蔼、手把手地教给我工作程序和工作方法，周六周日还带我到处去玩儿。

当然，清扫工作有时候也需要处理一些污物，要是对此心怀厌恶的话，是无法将这份工作坚持下去的。



此外，用擦地板的机器擦地、洒水、给地板打蜡这项工作非常需要体力。不过，单位对我十分信任，我也交了朋友，现在，我可以无忧无虑地工作；而工作也让我感到快乐，也体会到了人生的价值。今后，只要我还有体力，我就会把这个工作做下去。

现在，我仍然每周一次，做完早上的工作后去支援・交流中心的日语教室学习日语。还要照顾两个孙子，我每天都过得繁忙而紧张。

2013年8月12日

H

のように、毎日掃除をするビルが変わります。ある時、清掃場所に同僚たちが来ないので、慌てて電話で連絡を取ったところ、聞き取ったビルの名前が違っていただけがわかり、10分遅刻してしまいました。私にとって、日本のビルの名前はみな似通っていて、間違えやすかったのです。それで、その後は必ずメモを取ることにしました。また、同僚とのコミュニケーションも大変でしたが、先輩は優しく教えてくれました。

その後、部署が変わりましたが、そこでも先輩方が母親のようにていねいに手取り足取り仕事の順番ややり方を教えてくれたり、土日にあちこち遊びに連れて行ってくれたりしました。

清掃の仕事は汚物を処理しなくてはいけないようなことも、もちろんありますが、それを嫌がってはい仕事を続けていけません。また、床磨きの機械を使い、水で流し、ワックスを掛ける作業の時はとても疲れます。でも、私は職場で信頼されて、友達関係を作ることができ、今安心して仕事ができます。仕事が楽しいので、生きがいの一つになっています。今後も、身体の許す限り定年まで働きたいと思っています。

日本語は今でも週に一回、朝の仕事を終えてから、支援・交流センターの日本語教室に通って勉強しています。二人の孫の世話もあり、毎日忙しく過ごしています。

2013年8月12日

H